

その4 カスタマイズが自由自在の学習アプリ (iPhone, iPad 用) Bitsboard (ビットボード)



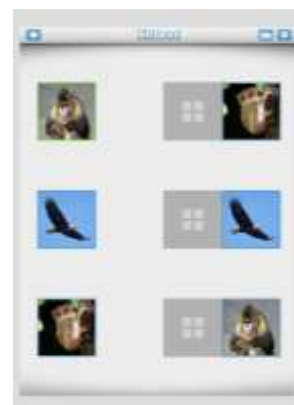
タブレットのアプリにはとても数多くの物がありますが、子どもたちが学習として使えるものを探すのはとても難しいものです。[Bitsboard](#)は子どもの興味や学びの力に応じて柔軟に設定を変えていける、すぐれものの学習アプリです。しかも基本、無料です。



●BitsboardではBits(ビット)という、画像と文字と読み方(声)のカードを作成するところから始まります。

たとえば「りんご」を作る時は、左の登録画面で①をタップし「りんご」の写真を撮ったり画像を選んだりします。次に②をタップして「りんご」の文字を打ち込み③をタップして「りんご」と声を録音します。このようなカードを子どもに合わせていろいろ簡単に作成できます。インターネットにつながっていれば、②に「りんご」と文字を打ち込んだだけで誰かの作ったカードが候補としてあらわれ、すぐに使用したり手直ししたりできるかもしれません。

●そして、その登録したカードを使ってワンタッチで様々なゲームをする事ができます。たとえば、音声を聞いて正しい画像をタッチする「Photo Touch」、画像と文字や音声の表示が合っているかどうか判断する「True or False」、その他にも4人まで同時にできる「神経衰弱」やイメージと文字をマッチさせる「Match Up」文字を正しく並べる「Word Builder」キーボードで文字を打つ「Spelling Bee」、「ビンゴ」や文字のなぞりまでできます。



Bitsを「くだもの」や「どうぶつ」などのグループで登録しておけば、「仲間はずれ」「分類」のゲームもできます。

●そして、それぞれのゲームの難しさを「設定」画面でこと細かく子どもに合わせる事ができます。ゲームの後は正答率を表示したり、ごほうびのステッカーで遊んだりする事もできます。

●難点は、英語表記である事です。ホームページに使い方のヘルプはあるのですが、全部英語なので、日本語の意識を用意しました。[\(使い方ヘルプ・ゲームの設定ヘルプ\)](#)

●「Bitsboard 使い方」で検索するといくつかブログに分かりやすい説明が載っています。

[支援機器普及促進協会のHPの「アプリ操作マニュアル」のページ](#)に画像付きで詳しく紹介されましたので、そちらも参考にしてください。